

科目達成レベル

(コンピテンシー・マトリックス 1/4)

				セ ミ ナ ー	英 語 I	英 語 II	英 語 III	英 語 IV	学 ス ポ ー ツ 健 康 科	情 報 処 理 基 礎	地 域 コ ア I	地 域 コ ア II	地 域 コ ア III	基 礎 物 理 I	基 礎 物 理 II	基 礎 化 学	哲 学 的 人 間 学	芸 術 学	歴 史 学	文 化 人 類 学	(法 学 日 本 国 憲 法)	医 療 経 済 学 入 門		
ア ウ ト カ ム	コンピテンシー	コンピテンシー小領域 (詳細は1/4の説明を参照)	必修・選択 単位数	必2	必1	必1	必1	必1	必2	必2	選必2	選必2	選必2	選2	選2	選2	選2	選2	選2	選2	選2	選2		
			教育課程表区分	共通教育																				
			履修年次	1年次										1.2年次										
コンピテンシー小領域の説明 / 科目番号			GISEM 180	GBFOR 180	GBFOR 181	GBFOR 182	GBFOR 183	GBHEA 180	GBBAC 180	GCITM 180	GCSSE 180	GCNPE 180	GSSNT 187	GSSNT 188	GSSNT 189	GSHSC 282	GSHCU 280	GSHCU 281	GSHCU 182	GSSNT 182	GSSNT 284			
1 医 療 人 と し て の 態 度	(1) 人間性の形成とコミュニケーション	① 一般教養	人間や社会、科学、文化に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。						C		C	C		C	C	C	C	C	C	C	C			
		② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感できる。																					
		③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、対象者、その関係者と信頼関係を築き、コミュニケーションを実践できる。	C																				
		④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自己の意見を明確に伝え、質問に的確に対応できる。	C																				
		⑤ 英語力	コミュニケーションに必要な基礎的英語力を持つ。		C	C	B	B																
	(2) 全人的理解とプロフェッショナルリズム	① 全人的対象理解	人間、生活、健康、環境及び各々の関連を踏まえ、対象者をアセスメントできる。																					
		② 多様性	対象者とその関係者の心理・社会・文化的背景と価値観を理解し、多様性を受け入れることができる。																					
		③ 自己管理	自己の生活を整え、健康を管理できる。	C						C														
		④ 課題対応	自ら知識や情報を修得し、それをもとに課題の抽出、目標設定、解決ができる。																					
		⑤ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。	C						C														
		⑥ 使命感	看護職として使命感を持ち、責任感を持って行動できる。	C																				
		⑦ 看護の法的基盤	関係法規を理解し、看護における法的責任・規範を遵守できる。																					
	(3) 看護倫理とヒューマンケア	① 倫理観	看護における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。																					
		② 尊厳・権利擁護	対象者の尊厳と権利を擁護するための援助的人間関係を形成できる。																					
③ 説明責任		対象者に看護行為について適切に説明し、同意を得ることができる。																						
④ 意思決定支援		対象者の価値観を尊重し、意思決定を支援できる。																						
2 医 療 人 と し て の 知 識 ・ 技 能	(4) 看護学及び関連領域の知識と根拠に基づいた看護実践	① 対象理解の基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、対象者理解のために応用できる。						C					C								C		
		② 看護実践の専門基礎科学	主要な健康障害について、病態と回復過程、診断に用いる検査・治療に関する看護実践を説明できる。																					
		③ 看護技術	基本的看護技術を適切に実践できる。																					
		④ 看護過程の展開	対象者の生活歴、病歴及び状態や意向に沿って一人を正確に把握し、対象者を多面的にアセスメントできる。根拠に基づき適切な看護計画を立案し、目標達成に向け看護を実践できる。																					
		⑤ 看護の質と安全	医療安全の知識を持ち、対象者及び医療者の安全・安楽を考慮し、対象者のQuality Of Life向上をもたらす看護を実践できる。							C														
	(5) 特定の健康課題に対応する看護実践	① ライフステージ	発達段階・ライフステージに応じた看護を実践できる。																					
		② 健康レベル	健康生活の保持と健康障害の予防に貢献できる。また、急激な健康破綻と回復、慢性疾患及び慢性的な健康課題、エンドオブライフ期に応じた看護を実践できる。																					
		③ 在宅看護	地域社会のニーズに対応した在宅看護が実践できる。																					
	(6) 科学的思考と生涯にわたる看護の探求・研鑽	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。						C	C														
		② 科学的探究心	看護における課題対応のための科学的な探究心を持つ。																					
③ 生涯学修		日々進歩する看護学的知識・技能を、生涯に渡って学修する基本的能力を有する。	C																					
3 地 域 性 と 国 際 性	(7) 多様なケア環境・地域特性と支援チーム体制・協働	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。	C																				
		② 多職種連携	医療・保健・福祉チームに関わる各職種の役割と専門性を理解し、互いに尊重できる。																					
		③ 地域包括ケア	地域ケア構築の必要性と地域包括ケアにおける看護の役割を理解し、地域住民と連携し協働できる関係を構築できる。																					
		④ グローバルな視点	異文化・異社会に関心を持ち、グローバルな視点で看護を実践できる。																				C	
	(8) ふくい看護力	① ふくいの医療・保健・福祉	ふくいの医療・保健・福祉の現状と課題を把握し、説明できる。	C											C								C	
		② へき地医療	へき地の地域特性に応じた看護実践ができる。																					
		③ 指導力・相談対応力	学生間で看護学の知識・技能・態度に渡る指導・相談対応ができる。																					

(達成レベル) A:実施できる B:説明できる C:理解できる

科目達成レベル

(コンピテンシー・マトリックス 2/4)

アウトカム	コンピテンシー	コンピテンシー小領域 (詳細は1/4の説明を参照)	社会学	教育学	教養特別講義	総合教養 ゼミナール	健康科学論	生命科学	形態機能論 I	形態機能論 II	生体反応論 I	生体反応論 II	生体反応論実習	生命倫理学 I	行動科学	統計学	看護学入門	形態機能論実習	生命倫理学 II	健康管理論	薬理作用論	疾病論 I	疾病論 II	保健医療福祉論	臨床栄養学	環境科学論	疫学	保健統計論	心理測定論	看護学概論	日常生活援助論	療養生活援助論			
			選2	選2	選2	選2	必1	必2	必2	必2	必1	必2	必1	必2	必2	必1	選1	選1	選2	必2	必2	必4	必2	必2	選1	選2	選1	選1	選1	必2	必2	必2			
			共通教育							専門基礎																			専門						
			1.2年次							1年次									2年次						3年次		4年次	1年次							
GSSNT 185	GSSNT 186	GSHSC 283	GSSNT 290	42HSC 120	42HSC 122	42HSC 123	42HSC 124	42HSC 126	42HSC 127	42HSC 128	42HSC 134	42HSC 136	42PHS 120	42HSC 121	42HSC 125	42HSC 135	42HSC 229	42HSC 230	42HSC 231	42HSC 232	42ENV 221	42HSC 233	42ENV 220	42PHS 321	42PHS 322	42HSC 437	42BAS 120	42BAS 121	42BAS 122						
1 医療人としての態度	(1) 人間性の形成とコミュニケーション	① 一般教養	C	C	C	C																													
		② 共感力													C																				
		③ コミュニケーション力													C								B		B										
		④ プレゼンテーション力																	B				B		B										
		⑤ 英語力																																	
	(2) 全人的理解とプロフェッショナリズム	① 全人的対象理解									C								C			C										C	C	C	
		② 多様性																														C	C	C	
		③ 自己管理									C																						C	C	
		④ 課題対応																	C				C		C								C	C	
		⑤ 礼儀とマナー																															C	C	
		⑥ 使命感																															C	C	
		⑦ 看護の法的基盤																															C	C	
	(3) 看護倫理とヒューマンケア	① 倫理観																															C		
② 尊厳・権利擁護																																	C	C	
③ 説明責任																																	C	C	
④ 意思決定支援																																			
2 医療人としての知識・技能	(4) 看護学及び関連領域の知識と根拠に基づいた看護実践	① 対象理解の基礎科学						C	C	C	C	C	B	B			C									B						C	C	C	
		② 看護実践の専門基礎科学											C	B	B												B					C	C	C	
		③ 看護技術																															C		
		④ 看護過程の展開																															C		
		⑤ 看護の質と安全																															C	C	C
	(5) 特定の健康課題に対応する看護実践	① ライフステージ																																C	
		② 健康レベル																															C		
		③ 在宅看護																															C		
	(6) 科学的思考と生涯にわたる看護の探求・研鑽	① 科学的研究																																C	
		② 科学的探究心																																C	
		③ 生涯学修																																C	
	3 地域・国際性	(7) 多様なケア環境・地域特性と支援チーム体制・協働	① チーム医療																															C	
② 多職種連携																																	C		
③ 地域包括ケア																																	C		
④ グローバルな視点																																	C		
(8) ふくいの看護力		① ふくいの医療・保健・福祉																																C	
		② へき地医療																																C	
		③ 指導力・相談対応力																															C		

(達成レベル) A:実施できる B:説明できる C:理解できる

